学校教育目標 ：「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にした学びがある学校 ～個人と社会の Well-being を目指して～

小城市立岩松小学校 学校だより 第 37 号	岩松小だより	令和８年１月 16 日発行 発行者　校長 真子靖弘

岩松小、アップデート－新しい学びのカタチへの挑戦－

３学期はこれまでの学びを形にする総仕上げの時期であり、次年度への大切な準備期間でもあります。

今学期の始まりにあたり、私たち職員は**「子どもたちの成長のために何を大切にすべきか」**を改めて共有しました。その時共有した本校が取り組む**「学びの姿」**について３つお伝えします。

１「自律・尊重・挑戦」を子どもたちの姿に

３学期も、本校の教育目標を単なる言葉ではなく、子どもたちの具体的な行動として育んでいきます。

「自律」： 自分で考え、選び、決断する。この経験が責任感やグリットを育てます。
「尊重」： 違いを認め合い、言葉を尽くして関わることで、寛容性やコラボレーションを育てます。
「挑戦」： 失敗を恐れず、新しいことに立ち向かう姿勢を支えることで、好奇心や問題解決能力を育てます。

２ 自律を促す「４つのことば」

３学期も私たちは指示や命令ではなく、問いかけによる支援を大切にしています。ご家庭でもぜひ、お子様との会話のヒントにしてみてください。

１ **「どうしたの？」**（まずは状況と気持ちを丸ごと受け止める）
２ **「どうしたらよかったのかな？」**
（自分の行動を客観的に振り返る）
３ **「これから、どうしたい？」**（次の行動を自分で決める）
４ **「何か手伝えることはある？」**（教員は自律を支える伴走者）

３ 岩松小の「新しい学びのカタチ」へ

来年度に向けて、岩松小学校はさらに進化します。現在、以下のプロトタイプ（試行案）を構想中です。

異学年で学び合う：算数・体育・総合学習での縦割り学習
個別に最適化する： AI 型教材の活用（3～6年生へ展開）

「まずやってみる。そして、やりながらより良くしていく」。このアジャイル（機動的）な姿勢を大切にし、岩松小ならではの**「新しい学び」**を、保護者の皆様と共に創り上げていきたいと考えています。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

集大成の卒業式を、子どもたちの手で

今年度、岩松小では常に**「その活動は、子どもの主体性を育むことにつながっているか」**という**問い**を大切にしてきました。その集大成として、今年度の「卒業式」を新しいカタチへとアップデートします。

1/14(水)の職員会議での議論を経て、今年度は**「二部制」**で実施することを決定いたしました。

【第一部】**儀式としての卒業式**（厳粛な雰囲気の中で、成長の証を刻む）
【第二部】**6年生が創り上げる卒業式**（自分たちの思いを表現し、感謝を伝え、後輩に託す）

今後は６年生を中心に、子どもたちと意見を交わしながら内容を創り上げていきます。

新しい挑戦に予定調和はありません。試行錯誤の中では、思い通りにいかないこともあるでしょう。しかし私たちは、失敗を「ダメなこと」とは捉えていません。むしろ、**「失敗は成功するために必要なプロセス」**であると考えます。自分たちで悩み、考え、形にしていくプロセスそのものが、子どもたちの「自律」への大きな糧となります。

どのような卒業式が完成するのか、私たち職員も今からワクワクが止まりません。進捗状況については、今後も学校だより等でお伝えしていきます。岩松小の新しい挑戦を、温かく見守っていただければ幸いです。

二瀬川橋歩道橋アートプロジェクト

この写真、何だかわかりますか？　実は今、岩松青少健の依頼で、**「小城中美術部 × 岩松小6年生」のコラボ企画**が進んでいます。

中学生が描いた下絵というバトンを、**6年生が色塗り**で受け継いでいます。完成作品は二瀬川橋の歩道橋に掲示されます。新しい地域のシンボルをどうぞ楽しみにしていてください！